

サーフビバレッジ

製造可能品目が拡大

量販・飲食店等のプライベートブランドの製造を主に、自社製品の展開も行う飲料メーカー、サーフビバレッジ。東京都渋谷区に本社を構え、製品は山梨の3工場を拠点に多品種・小ロット生産を特色としている。自社製品では「とうもろこしのおいしいひげ茶」を主力に、新製品は毎年春夏・秋冬に各1製品を上市しているなか、今年度は製造可能品目の拡大から春夏製剤では3品目を新たに提案。

このほど同社企画開発室の小宮山奈巳係長(写真左)、志村幸輝氏(同右)が本紙の取材に対応。自社製品開発に込める想いなどを聞いた。

〈多品種・小ロット生産にて500超アイテム製造〉

1992年にモスフードサービスのミネラルウォーター(MW)製造販売子会社モスビバレッジとして設立された同社。山梨県甲州市に構えた山梨工場にてMWを製造・販売。95年にはモスフードサービスから独

コーヒー飲料、乳酸菌入り飲料を新提案

〈今春夏季には異例の3新製品展開〉

立しサーフビバレッジへと社名を変更。現在では山梨工場・石森工場(山梨市)・大野(同)工場の3拠点を構え、製品の製造を行っている。

PBは同社の9割を占めるメイン生産品目。多品種・小ロット生産を特色に自社製品も含め500超のアイテム数を製造

したが、秋口の自社新製品として展開した「キンモクセイ香る 東方美人茶」は、主力の「とうもろこし

性が満足できる新しいブランドの商品」。親しみのある素材を組み合わせた市場ではあまり見ないニッチなブレンド提案を目指している。

販売チャネルは、こだわりの小売をメインに、女性の利用傾向が高い「ナチュラルローソン」などで展開。本社および支店を構える関東圏および関西圏で



ス2個分の食物繊維が摂れること、カフェインゼロ

の安心感などから女性はもちろん、子どもも男性まで幅広く楽しめる商品。

昨年は、販促活動の一環としてモンドセレクション等に出品。その結果、「モンドセレクション」、「インターナショナル・テイスト・インスティテュート」各賞を受賞し秋口から受賞ロゴをパッケージに掲載。前年比200%を超えて順

調に売上を伸ばしている。

〈昨秋の新製品「キンモクセイ香る 東方美人茶」が人気〉

昨年に発売した「キンモクセイ香る 東方美人茶」が「ひげ茶」に次ぐ売れ筋商品として好評を博している。台湾発祥の烏龍茶である東方美人茶にキンモクセイの花びらをブレンドした桂花美人茶を使用した同品。キンモクセイの香り



〈働く女性が満足できる新しいブレンドを提案〉

自社製品の開発コンセプトは「働く女

1本(500ml)でレタ



製造可能品

同社の自社製品は例年、春夏・秋冬に各1新製品を展開してきたなか、今年度は工場内での製造可能品目が拡大したことにより異例の3製品を提案している。

5月に発売した「美々茶」は、健康需要の高まりからもカラダに優しいプーアル茶とブルーベリーを組み合わせた。独特な風味が特徴のプーアル茶をブルーベリーで香り付けし飲みやすい爽やかなブレンドで提案した。

新たな時代への突入に際し、今後の自社製品開発におけるコンセプト・方向性については検討段階にある。「健康価値も大切な要素だが、味わいも決まらなないがしろにしてはいけない。直近は引き続き菓籠りによるストレスからもすっきりとしたリラックス感を感じられる素材を使用した商品の開発を目指す方向性であるが、長期的視点での指針は今後の検討課題だ」という。

今後もサーフビバレッジならではの独自の存在価値を持った製品提案を進められていくことだろう。

(小林千也)



目の拡大により開発に至ったのはPETボトル入り

を移した東方美人茶は台湾では桂花美人茶として認知されているが、日本でもポピュラーな花の香りとして親しまれているキンモクセイの華やかで甘い香りのお茶としてコロナ禍において高まるリラクゼーションニーズにヒット。リピート率も高く、一部店舗では「ひげ茶」を上回る売れ行きとなっているという。

〈コロナ禍における製品提案を模索〉